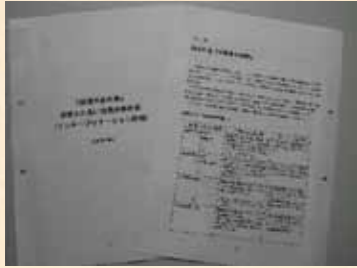


センター長の部屋 ～那須平成の森
新しい自然学校のころみ～

第7回 5年で見直す、インタープリテーション計画
～社会情勢やニーズの変化には敏感に対応する～



改訂版「インタープリテーション計画」(一部)

私たちは、「インタープリテーション計画」(通信18号参照)を5年を目途に改訂することを想定していました。社会の動向や来園者想定、ニーズなどの変化により、それらに沿った計画でなければならぬと考えていたからです。改訂では次の点に留意しました。

- ・対象者(来訪者)想定で分けた類型、「グループの性格」と「自然への関心度」の[予想される利用の特徴]を改訂。
- ・上記の類型に[対応する主なプログラム]の改訂。
- ・那須高原ビジターセンターでは、[体験プログラムの要望に応える計画]に改訂。また、追加事項として、以下の項目を加えました。
- ・「自然への関心度」による類型の中で、観光立寄り層、自然探勝目的層、自然愛好者層、環境保全関心層のそれぞれの層に[体験してほしい内容]と[達成したい定性目標]を設定。

こうして改訂版「インタープリテーション計画」はスタッフ全員に配られ、開園6年目からの新たな計画として私たちの教科書となったのです。(若林)

※ホームページでは、随時詳細版を掲載しています。興味のある方は、是非そちらもご覧ください。

那須平成の森に響く
バイオリンの音色



10月23日に行うガイドウォーク特別編「紅葉と音の森ツアー」の宣伝も兼ねて、森でバイオリンの演奏をしました。最初は突然の演奏に戸惑っていたお客様も、最後には曲に合わせて踊り、楽しめました。中には「森で聞く音楽は癒される」という嬉しい声も!木から作られたバイオリン。木々が育つ森で奏でる事により、音色が変化するのかもしれない。(吉田)

日光国立公園

那須平成の森 通信



第23号
平成28年10月



那須平成の森基金(サポーターの会)からのお知らせ

■那須平成の森助成団体の活動予定

「フクロウってどんないきもの?」

日本の野生のフクロウについて現状を知り、保護活動を実施している専門家と一緒に実際の活動を体験してみよう。

日時:11月23日(水・祝) 10時~15時

対象:親子20名程度

参加費:保険代(実費のみ)を予定

主催:NPO法人グラウンドワーク西鬼怒

※詳細など決定次第、ホームページ等でお知らせいたします。

■平成28年度サポーター会員募集中!

当基金では那須平成の森における取組を応援して下さる「那須平成の森サポーター」を募集しています。

お申込みいただくと会員証、オリジナルピンバッジとポストカード、那須平成の森通信等を送付いたします。

会員証の提示で那須平成の森ガイドウォーク参加費が30%割引の特典もあります。

ぜひご支援をお願いいたします。

個人会員:年間3000円、家族会員:年間5000円

寄付も随時お待ちしております。(お問合せTEL:0287-76-2589)

那須平成の森

■お問い合わせはこちらへ

[那須平成の森の活動内容、プログラムや自然情報については...]

那須平成の森フィールドセンター
4月~11月 9:00~17:00 12月~3月 9:30~16:30
〒325-0302 栃木県那須郡那須町湯本207-2
TEL 0287-74-6808 FAX 0287-74-6809
HP <http://www.nasuheiseinomori.go.jp>

那須高原ビジターセンター

[日光国立公園那須甲子地域については...]

那須高原ビジターセンター
4月~11月 8:30~17:30 12月~3月 9:00~16:30
〒325-0301 栃木県那須郡那須町湯本207-2
TEL 0287-74-2301 FAX 0287-74-2302
HP <http://www.nasuheiseinomori.go.jp/vc/>



[モニタリング調査、那須平成の森の全体計画等については...]
環境省関東地方環境事務所 那須自然保護官事務所
〒325-0301 栃木県那須郡那須町湯本207-2F
TEL 0287-76-7512 FAX 0287-76-7513
HP <http://kanto.env.go.jp/>

※那須平成の森にはバスの駐車スペースはありません。バス等の大型車でご利用予定の方はお問い合わせ下さい。



那須平成の森へのアクセス

ジュニアインタープリターになろう!フォローアップ編
第4回 森林管理~外来種駆除、ササ刈りなど~

「ほら、こうやって抜くんだよ。」セイヨウオオバコの取り方を説明しているのはインタープリターのマルコ。周りで聞いているのはジュニアインタープリターに参加している子どもたちです。お話の後、いよいよ外来種駆除のお手伝いをはじめるところで、こんな声が聞こえてきました。「なんで抜いていい草と抜いちゃいけない草があるの?」「全部抜いちゃえ!!」。確かに、外来種と在来種の話は低学年の子には少しむずかしかったかもしれませんね。でも、作業になれば、ちゃんとセイヨウオオバコと他の植物を区別できていました。低学年は遊びながら、高学年は黙々と抜いて、最後には一輪車に山盛り2杯採れました。